

XN-8000 シリーズ音響・振動計測ソフトウェア

# 解析データ3次元表示手順書

初めに

説明の表記上の注意 : メニューやツールバーから開くと、クリックしていく順を表わします。 [ ] : クリックして開かれたダイアログを表わします。 【 ] : ツールボタン・アイコンなどクリックするアイテムを表わします。 ダイアログ : アイコンをクリックしたときに開かれる設定画面のことを表します。 オブジェクト : ペーパーに表示されているグラフや画像、テキストのことを表します。 プロパティ : グラフオブジェクトに関する設定画面 (ダイアログ)を注目していただくた め、ここでは特に〔グラフ〕プロパティと表しています。

#### 概要

XN-8000 シリーズ音響・振動計測処理用ソフトウェアでの解析データ「パワースペクトル」を三次 元表示する手順を説明します。測定の設定は終了しているものとします。各ダイアログの設定内容 は例として参考にして下さい。

### 操作手順

- 1. 「挿入 グラフ」をクリックします。
- 2. グラフ表示する範囲をドラッグします。〔グラフ〕プロパティが表示されます。
- 3. 〔グラフ〕プロパティの項目の設定例を次に示します。

信号名	ch1
波形の種類	パワースペクトル
	瞬時値
グラフの種類	アレイ(折れ線)

OK ボタンをクリックします。三次元アレイのグラフが表示されます。(図1)



図1

- 4. リモコンパレットの【Schedule 】ボタンをクリックすると、〔スケジュール〕ダイアログ が開きます (図 2 )。
- 5. 「[スケジュール]ダイアログ データ取得毎」をクリックしチェックを入れ、OK ボ タンをクリックします(図2)。

		11 [D. YK N0000 V20 050922 1545.5 数 4 マンパンパン フレイド 100 × 107.5 1 20 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	AU4000 生動動設設 27-66 0921nodol.ort 日日ののしort 日日ののの人の大	
計測ペーパー[ペーパー] ○ 1 16 0 40 100 100 100 100 100 100 100 100 10	64   00   98   112   120 コンフィグ系ード - 20060921nnda1.or1	44, ■ ● 勝新条件:入方ジュール スケジュールの方法		260160
2011 2015 V21056 2011 1000 V21056 2011 2015 V21056 2011 2015 V21056 2011 2015 V21056		<ul> <li>(デニタ取得番目)</li> <li>(定時間スケジュール 計測時間 (保存開稿)</li> <li>(保存開稿)</li> <li>(回販スケジュー剤)</li> <li>(回販スケジュー剤)</li> </ul>	1 min 1 #	ジループ設定 ループから新聞筆 GROUP1 GROUP2 GROUP3
04.4 (((())) 30.000 () 04.4 (()) 30.000 () 04.4 () 04.	(Pulse)	回転信号入力 回転レンジ 下限回転速度 上限回転速度	21/mm 01/mm 10001/mm 00001/mm	GROUP4 GROUP5 GROUP5 GROUP7 GROUP8
-30,000		日期に地営用部務 スロープ 「三回転送店の・明日外・	1000/mm  上年 王 フィらまで守根する	ミチャンネル選択 ヘルブ(型)
		X T GEL 00 7	ペトア可能点数 20001	

図2

- 6. コンフィグボードの【X】をクリックし、コンフィグボードを閉じます。
- 7.  $J \in J \subset \mathcal{S}$  on  $J \in \mathcal{S}$  on  $J \in \mathcal{S}$
- リモコンパレットの【Start】ボタンを on し、仮測定を行います(図3)。
   データは三次元グラフとして表示されますが、X、Y、Z軸スケールが適切でないため、次の操作で見やすくしていきます。



図3

- 9. 三次元グラフをクリックし、続けてダブルクリックし、〔グラフ〕プロパティを開きます(図4)。
- 10. 〔グラフ〕プロパティのX、Y、Z軸それぞれの上限、下限値を適切に設定します。 マウスを入力窓に合わせクリックし数値を設定後 適合ボタンをクリックして設定値を確 定してください。図4は設定例を示しています。



叉 4

11. 〔グラフ〕プロパティの【X】をクリックし〔グラフ〕プロパティを閉じます(図 5)。 三次元グラフが見やすくなりました。



【軸移動】ボタンを on にします。

三次元グラフをクリックし、選択します。選択されていると枠が緑になります。 グラフの X、Y、Z 軸やそのスケールにマウスを合わせクリックしたままにすると、 十字や マークに変わります。クリックしたままドラッグすると軸の移動に合わせ てグラフの形が変化します。

- 十字マークのときは全体の移動が可能です。
- は軸やスケールの移動ができます。



図 6

#### (補足説明)

グラフ全体の移動は【オブジェクト編集】ボタンを on にして、グラフをドラッグして移動します。グラフ内の編集は〔軸移動〕ボタンを on にしてから操作します。

<sup>12.</sup> より見やすくするため、軸の編集を行います(図6)

13. スケジュールの変更

スケジュールはデータの採取に関する設定機能です。測定する時間間隔と測定時間を設定 した例を次に説明します(図7)。

定時間スケジュールをクリックしチェックを入れます。10s ごとにデータを採取し、 180s (3分)間測定する場合は次のように設定し、OK ボタンをクリックします。

計測時間	180s
保存時間	10s

スケジュールの方法	
<ul> <li>アータ取得毎</li> <li>定時間スケジュール 計測時間</li> </ul>	3min]
保存間隔	10s
€ 回転家ケジュール	1000
回転信号機能	+
回転信号入力	*
回転レンジ	0r/min
下限回転速度	1000r/min
上限回転速度	8000r/min
回転速度間隔	100r/min
スロープ	上昇 💌
一旦回顧訪問當於範囲外に	
<ul> <li>「ストア点数に達したら終 ストア点数 100 ス</li> <li>「ストア点数で間隔</li> </ul>	7 トア可能点数 19926 SAG

図 7

スケジュールの設定に合わせ、〔グラフ〕プロパティのZ軸のスケールを調整します(図8)。 スケールの設定は測定後でも変更ができます。 【X】ボタンをクリックし〔グラフ〕プロパティを閉じます。

ガラフ				×
グラフ名 条件表示 表示データ	断面・ラインt 注算	トーチートトレン	ドサーチ   描 軸   自	画位置 5-線種
X動。同波数	<b>V</b>	表示タイプ	標準  ▼	小数部 3 💌
下限  0	上限  150 主 副	日盛間隔 50 25	道用 デフォルト オート	<ul> <li>← Linear</li> <li>← Log</li> <li>← Octave</li> </ul>
			スペクトル単位	副軸酸定
Y <b>dd</b>   THIII	<b>T</b>	表示タイプ	標準 💽	小数部 3 ▼
下限  0	<u>上限</u> 60 主	日盛間隔 6	道用 デフォルト	⊂ Linear ⊂ mag-Log € mag-dB
	i) الق	3	スペクトル単位	
乙軸 時間	•	表示タイプ	標準 💌	小数部 3 💌
下限  0	<u>上限</u> 200 主	目盛間隔 60	適用 デフォルト	C Linear C Log
l	副	20	코타	C Uctave
			スペクトル単位 表示方向切替	?

図 8

【Schedule】ボタンをクリックし、on にします。 【Start】ボタンをクリックし測定を開始します(図9)。



図9

14. 水平断面、垂直断面の表示

三次元表示のデータに断面図を付加することができます。

三次元グラフを右クリックし、プルアップメニューを開きます(図10)。



「プルアップメニュー 補助プロジェクト 水平断面図」クリックします(図11)。 「プルアップメニュー 補助プロジェクト 垂直断面図」をクリックします。 【ラインポインタ】ボタンをクリックします。ラインポインタが十字赤線で表示され ます。

パソコンのキーボードの上下矢印キーを押すとラインポインタをZ軸で前後に移動さ せることができます。また、キーボードの左右矢印キーを押すとラインポインタをX 軸で左右に移動

ラインポインタの位置の垂直、水平断面が表示されます。ラインポインタの交点の値がX、Y、Zとして表示されます。



ラインポインタボタン

図 11